

一般社団法人日本セカンドライフ協会

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

令和2年度事業報告

令和2年度は、下記の活動目標を設けて事業運営して参りました。

1. 緊急事態への対応

緊急事態宣言の発令により、春号の全ての活動は中止し宣言解除後の夏号・秋号は注意を払いながらイベントを再開しましたが、感染を気にする会員の参加が少なく、冬号も再び発令された緊急事態宣言の影響を受け、殆ど活動中止となってしまいました。

この結果前期との比較では、イベント件数 39%、参加者数 26%、イベント粗利 22%・サークル粗利 32%となりました。

活動縮小に伴う収入減を補う為、各種助成金の受給や世話人・参加者からの寄付金を募り計約 1,600 万円を確保し、東京・大阪の事務所移転を行い月額約 50 万円の経費削減等を行い、当期は 23 万円の黒字で何とか着地する事ができました。

また当期は、コロナの影響を受けない「オンラインイベント」を新たに実施しました。参加者は未だ少ないものの、普及活動を継続し今後もコロナ対策として参ります。

さらに、当期は会員へのメールマガジン配信や、JASS ネット誌掲載以外の追加イベントをホームページで募集する事を開始しました。

これらも集客・参加者数増加策として引続き実施して参ります。

2. 活動エリアと運営仲間の輪の拡大

従来 of 活動エリア(関東・中部・関西)に加え、新たに東北での活動を開始しました。コロナの影響により残念ながら東北のイベント参加者は少なくなりましたが、協力的な世話人が見つかりましたので、今後も活動を継続して参ります。

その他、北海道、中国、四国、九州エリアへの展開も模索しておりましたが、コロナの影響により来期以降に持ち越しと致しました。

3. 会員の拡大

当期は、新たにUAゼンセン「IKI・IKIライフクラブ(友の会)」に入会いただきました。一方、コロナ禍による経営状況等もあり、残念ながら4社が退会となりました。尚、当期に勧誘を行った1社が来期入会いただく予定です。

コロナ禍での厳しい事業運営となりましたが、当期は、本業のイベント・サークル活動の縮小を助成金・寄付金等で補い、何とか黒字決算となりました。

1. 組織運営

(1) 登録企業会員の状況

令和2年度開始時点で、会員数56会員でスタートしました。

期中の増減は退会4、新規加入1で、期末は53会員となっております。

退会:MSD、小田急、東京ドーム、マンダム

加入:UAゼンセン「IKI・IKIライフクラブ(友の会)」

(2) 企画者の状況

当協会のイベント、サークルは、企業会員出身の運営委員、世話役の方々を中心に行われております。令和2年度末における各人数は次の通りです。()内は前期末との比較。当期は退任する運営委員、世話役が多く、新たな仲間を増やす事が来期以降の課題となります。

a. 運営委員

関東地区運営委員会 41名 (4名増)

中部地区運営委員会 6名 (増減無)

関西地区運営委員会 28名 (4名減)

東北地区世話役 1名 (1名増)

合計76名 (1名増)

b. 世話役

関東地区世話役 21名 (1名減)

中部地区世話役 4名 (1名減)

関西地区世話役 16名 (11名減)

合計41名 (13名減)

2. 事業活動

(1) イベント・サークル事業

イベント事業におけるイベント催行数は、前期実績から1,192件減り769件となり、イベント参加者数は、前期比26%の6,368人(18,173人減)となりました。

サークル事業に関しては、前期比25%、参加者875人(2,676人減)となりました。

以上の結果、イベント事業とサークル事業を合わせた延べ参加人数は、7,243人となり前期比26%、人数にして20,849人の減少となりました。

(2) 機関誌事業

年4回発行の機関誌「JASSネット」の発行部数は、38,000部でした。

3. その他活動

(1) 広告収入の増加

シニア向け分譲マンションを販売している企業から継続的にJASSネット本紙広告、バナー広告を受注することができ、前期比で65万円増となりました。

(2) ホームページの閲覧数が増加

JASSホームページからのイベント申込みは引続き3割を超える状況となっております。また、毎週イベント・サークルの活動報告を更新しており、令和2年度は活動報告が104件（前期比35%）、月平均9件の投稿がありました。前期より197件減りましたが、これは緊急事態宣言やコロナの影響等によるイベント、サークル中止に起因するものです。

また、ホームページのアクセス数は年間 165,004 件（前期比108%/月平均 13,750 件）となり、イベント・サークルを自粛したにも拘わらず過去最高のアクセス数となりました。これは、ホームページをご覧いただく会員が一定数定着した事と、メールマガジンでの告知や追加イベントの掲載が奏功し、アクセス数増加に繋がったものと推察します。コロナ禍におけるコミュニケーションツールとして、今後も有効に活用していく所存です。

(3) 寄付を募りました

各方面から寄付を募り、世話人約60名から約100万円、参加者約190名から約230万円、合計約250名から約330万円の寄付をいただき、当期黒字決算に寄与する事となりました。匿名希望の寄付者以外は JASS ネット誌に氏名を記載します。

(4) オンラインイベントの開始

コロナ対策として冬号よりオンラインイベントを開始しました。企画数は30件程でしたが、参加者が少なく中止になるものもあり、催行しても定員を大きく割り込む結果となりました。残念な結果となりましたが、毎週の Zoom 体験会等を継続する事により、参加できる会員の裾野を増やし、コロナ禍における催行可能なイベントとして引続き来期も注力して参ります。

(5) メールマガジンの配信開始

9月より参加者約1,200名に対して、メールマガジン「JASS 瓦版」の配信を開始しました。従来配信していた中部瓦版以外に本部・関東瓦版と関西瓦版を月 2 回のペースで配信しています。

(6) ホームページでの追加イベント掲載を開始

JASS ネット誌に掲載されているイベント以外にホームページで追加イベントの掲載を開始しました。当期末現在の掲載は 10 件。今後増加するものと考えます。

(7) 事務所を移転

東京と大阪の事務所移転を期中に行い、月額約50万円の賃料削減を図りました。来期の収支改善に大きく寄与するものと思われま

4. 理事会、総会の開催状況

令和2年度は、理事会を2回、総会を1回開催致しました。また、臨時理事会を1回、臨時総会を1回開催致しました。

令和2年6月2日に令和2年度第1回理事会、及び令和2年6月18日に通常総会を開催し、令和元年度事業報告、令和元年度収支決算報告、令和2年度事業計画、令和2年度予算を審議し、いずれも承認されました。

第1回理事会では、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事から令和元年12月から令和2年5月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

令和2年12月14日には令和2年度第2回理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事、常務理事から令和2年6月から12月までの職務執行状況の報告があり特に問題なく了承されました。

また、令和2年10月5日に定款変更(本部所在地の変更)に関する臨時理事会を開催し、同月22日には臨時総会を開催し、どちらも定款変更につき了承をいただきました。

以上